

第26回 全国クラブチームサッカー選手権愛知県大会 大会要項

- 開 催 日 (1) 2019年5月25日(土) 6月1日(土) 6月15日(土) 6月29日(土) 7月7日(日)
※予備日は設定しない。
※グラウンド確保状況により、ナイトゲームでの試合開催の可能性もある。
- 大会会場 愛知県下各グラウンド
- 大会組合せ 2019年3月24日(日)指定した会場に於いて、出場チームの監督(代理でも可)が抽選を行う。
※グラウンド確保状況によって調整する。
- 参加資格 (1) チーム
大会開催年度に愛知県サッカー協会に加盟している1種社会人チームで
愛知県社会人サッカーリーグと各地区社会人サッカーリーグより選出された24チーム。
※ Jリーグ・JFL・地域リーグ加盟チームならびに自衛隊・自治体職員・大学・高等専門学校の
各連盟に所属するチームは参加を認められない。また、大学・高等専門学校・専門学校の
単独チームも参加を認められない。(但し同一学校の選手が5名以内であれば認められる)
- (2) 選手
初戦に本部に提出するエントリー表に必要事項(背番号・氏名・選手登録番号)を記載し選手証
(登録選手一覧)に写真が登録されていること。
(公財)日本サッカー協会が登録を承認した選手とする。
※ 選手エントリー数は制限しない。大会初戦にてエントリー表承認後の変更と追加は認めない。
(監督、コーチが選手として出場する場合もエントリーに含む)
(東海大会は大会規定により選手エントリー数が最大22名までとなるので留意されたい)
※ 初戦で選手証を承認できない選手は大会エントリーできない。(写真登録無しも同様)
※ 大会期間中に異なるチームに移籍した選手が発生した場合、直後の試合にてエントリー表
を提出する際に本部役員に申告し取り消し処理を依頼すること。その際選手登録一覧も
最新のものに更新すること。
※ 選手資格に疑義がある場合は所属地区委員会社会人の意見を求める。
なお疑いのある場合は1種委員会社会人がこれを裁定する。
- (3) 監督証も提出し承認を得ること。
※ 監督証には写真が登録されていること。
- 大会形式 (1) 出場チームによるノックアウト方式にて東海大会に進出するチームを決める。
3位、4位決定戦は行わない。
- 競技規則 (1) 大会実施年度(2018~2019年)の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。
- 競技会規定 (1) ボール
試合球 : モルテン社製 検定球 5号球
※ マルチボールを採用しない。また、ボールパーソンは配置しない。
※ テクニカルエリアおよびアップエリアから外れてのボール拾いは不可とする。
※ 試合球は(公財)愛知県サッカー協会1種委員会社会人から提供する。
- (2) 競技者の数
①競技者の数 : 11名
②交代要員の数 : 7名以内
③交代を行うことが出来る数 : 5名以内
④外国籍選手は5名以内の登録、3名以内の出場可(但し準加盟チームは除く)
- (3) 役員の数
チームベンチに入ることのできる役員の数 : 6名以内
- (4) テクニカルエリア:設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度ただ1人の役員が伝えることができる。
- (5) 試合開始40分前までに大会エントリー表、メンバー表4枚(複写)、選手証(登録選手一覧でも可)
をセットにして試合会場本部に提出すること。各種提出資料は背番号順に作成すること。

- (6) 競技者の用具
- ①ユニフォーム
大会実施年度(2018～2019年)の(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。
ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は正の他に副として、正と色彩(濃淡)が異なり判別しやすすいユニフォーム色彩を大会エントリー表に記載する。
基本的にユニフォームは組合せの上のチーム「正」、下のチーム「副」を原則とする。
- ※ 試合当日は必ず正副2着用を用意をする。
- ※ アンダーシャツはシャツの袖の主たる色と同じ色でなければならないが同系色でも可とする。必ずチームで統一する。
- ※ アンダーショーツ及びタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならないが同系色でも可とする。必ずチームで統一する。
- ※ ソックスの上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じ色に限る。
但し、同色が困難な場合は同系色も可とするがチーム内で統一する。
- ※ 貼り番をする場合は台地(白布等)に番号を記入し四辺をしっかりと縫いつけること。
背番号の白布は縦30cm×横30cm位
胸番号の白布は縦15cm×横15cm位
- ②装身具
一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (7) 試合時間
- ①試合時間 : 70分(前・後半35分)
- ②ハーフタイムのインターバル : 原則として5分(前半終了から後半開始まで)
- ③試合時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。
- ④PK方式に入る前のインターバル : 1分
- ⑤アディショナルタイム表示 : 実施する
- ⑥高温に伴う試合ガイドラインに則り、飲水タイムまたはクーリングブレイクを採用することがある。
- 決勝戦のみ**
- ①試合時間 : 70分(前・後半35分)
- ②ハーフタイムのインターバル : 原則として5分(前半終了から後半開始まで)
- ③試合時間内で勝敗が決しない場合は、延長戦により勝敗を決定する。
- ④延長戦に入る前のインターバル : 3分
- ⑤延長戦 : 20分(前・後半10分)
- ⑥延長戦を含む試合時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。
- ⑦PK方式に入る前のインターバル : 1分
- ⑧アディショナルタイム表示 : 実施する
- ⑨高温に伴う試合ガイドラインに則り、飲水タイムまたはクーリングブレイクを採用することがある。
- (8) その他
- ①第4の審判員 : 任命しない。
※試合会場の運営役員が兼務する。
- ②負傷者の対応 : 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- ③チームベンチ : ピッチ上本部からフィールドに向かって
左側・・・対戦表の上に記載されているチーム
右側・・・対戦表の下に記載されているチーム

懲 罰

- (1) 本大会は(公財)日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会規律委員会は1種委員会社会人委員長をはじめ各地区役員で編成される。
大会規律委員 藤井祥男 西牟田明夫 杉浦幹根 相羽実
榊原純 榊原将之 渡邊邦夫 杉本憲昭 阿部幸哉 藤田和也
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会規律委員会において裁定する。
- (5) 本大会および東海大会と全国大会を途中棄権した場合、以後の処置は1種委員会社会人及び所属地区委員会社会人にて裁定する。
- (6) 本大会要項に記載のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて裁定する。
- (7) 本大会において規定違反をした場合は、その試合を没収試合とし以後の処置は大会規律委員会にて裁定する。
- (8) 本大会を途中棄権した場合、割り当てられた審判(副審含む)は棄権チームが対応する。

- そ の 他
- (1) 本大会の優勝チームを第26回全国クラブチームサッカー選手権大会 東海大会に愛知県代表チームとしての出場権を与えるものとする。
 - (2) 天候等による中止時の扱い
試合の成立は前半終了時点とする。前半途中又は中止決定時に同点の場合は抽選を行なう。抽選者は各チーム1名選出する。抽選は県協会から指定した場所で開催する。
 - (3) 主審は県協会審判委員会より派遣とし、副審は各チームの帯同審判で実施する。
※ 副審は審判割当表に記載された両チームにおいて対応する。
※ 決勝戦のみ主審および副審を県協会審判委員会より派遣する。
※ 副審は4級以上の審判資格を有する者とし、当日は本年度の審判証を持参し、審判服着用のこと。
※ 担当する試合開始40分前までに審判証を持ち、審判のできる準備をし大会本部に顔を出すこと。
※ 審判証には写真が登録してあること。(WEBでの提示も可)
※ 帯同審判が担当する試合開始時間に間に合わず不在の場合は審判棄権とみなし当該チームの試合を没収試合とする。
 - (4) 交代要員はピブスを着用する。
※ チーム役員と交代要員を明確に区別すること。
 - (5) ハーフタイムでのピッチ内への立ち入りは、当該試合の両チームの選手及び役員のみとする。
 - (6) ハーフタイムのピッチ内練習は、交代選手7名以内と役員2名以内とする。
 - (7) 試合中のウォームアップはボール使用不可とする。
 - (8) 第1試合の両チームでグラウンド準備を行う。
 - (9) 最終試合の両チームでグラウンド整備と後片付けを行う。
 - (10) 車、バイク(自転車含む)等は、指定された場所(駐車及び駐輪場)に停めること。
 - (11) 指定された場所以外での喫煙はしないこと。
 - (12) 施設(グラウンド等)に設置されたゴミ箱にゴミを捨てないこと。ゴミは必ず持ち帰ること。
 - (13) 使用した更衣室等は、必ず掃除しその後 県協会役員に確認してもらうこと。
 - (14) ドリンクについては芝生グラウンド(人工芝を含む)では水のみとする。
 - (15) 試合中のピッチサイドに置く飲水用のボトルはスクイズボトルとする。
※ ペットボトル不可(材質が硬く、キャップが散乱する可能性もあり怪我を誘発する要因になりうるため)
 - (16) 登録選手一覧及びエントリー表など提出された個人情報、大会運営以外には一切使用しない。
 - (17) 大会期間中の事故(物損等含む)については、主催者側は一切責任を負わない。
 - (18) 参加選手の負傷については各チームで処置を行い、主催者側は一切責任を負わない。
 - (19) 各チームともスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
 - (20) 大会会場に着いたら大会本部に向いて会場の諸注意を確認すること。
 - (21) 企業グラウンド施設が会場である場合、グラウンド以外の構内施設などに立ち入りをしないこと。